

# 東京湾海況情報 23-7

## 東京湾水質調査結果 (平成23年10月)

(平成23年10月18日発行)

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒 293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 10/11：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(10/11)、東京湾口海況図(10/11-14)  
 内湾底びき網研究会連合会(10/11)  
 モニタリングポスト(10/11：国土交通省関東地方整備局)

### 【 水温・塩分の状況 】

先月下旬から急激に降下した湾内の表層水温(図1)は今月になってほぼ横這い状態となり、ほぼ全域で22℃前後になっています。塩分は依然内湾中央から北部海域の西側で28以下と低塩分化していますが、千葉県側ではほぼ平年並みに回復しています。

また、内湾縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、水温は表層から底層までほぼ一様で、水温混合が始まってきていると思われます。しかし、塩分はまだ成層状態を示しています。

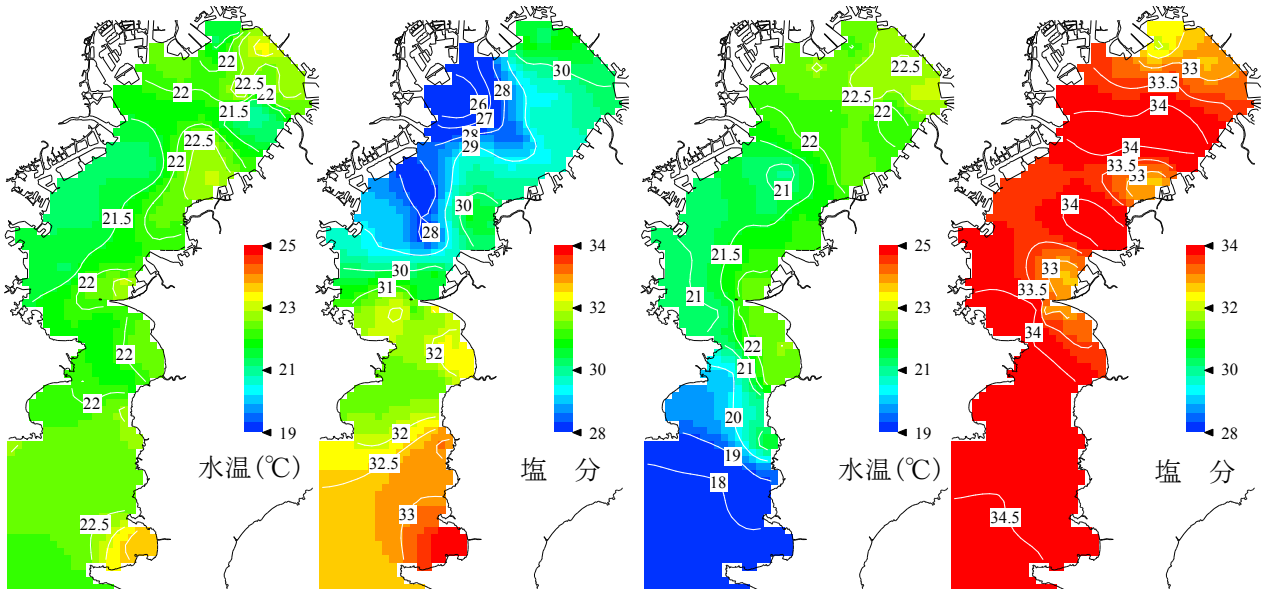


図1 水温・塩分分布 (表層)

図2 水温・塩分分布 (底層)

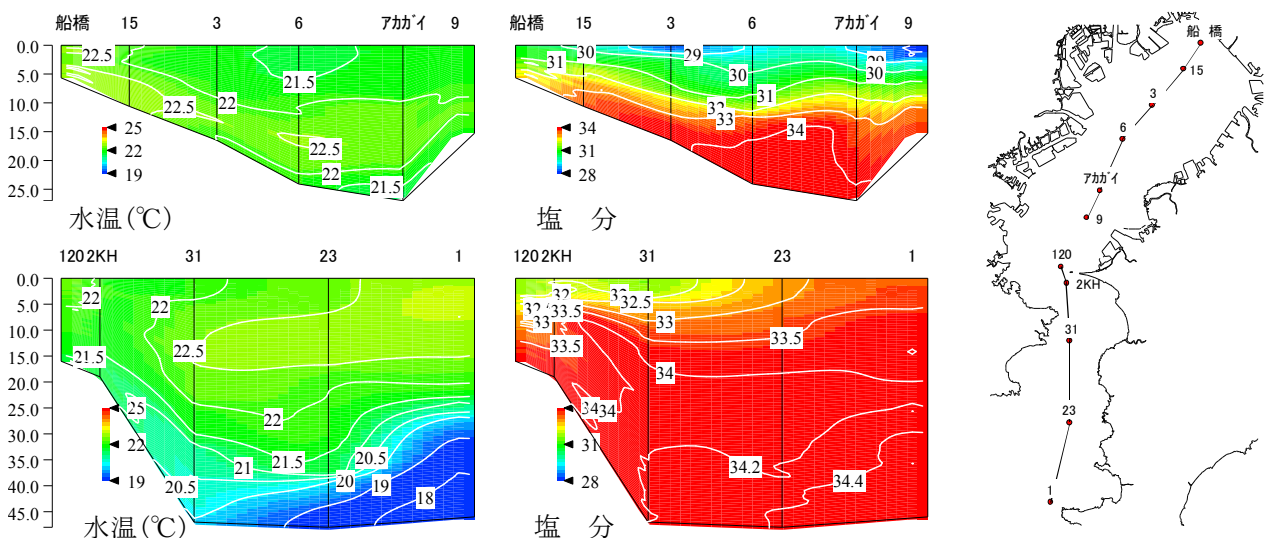


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

### 【 赤潮の状況 】

赤潮は先月下旬から今月初旬にかけて終息しましたが、ここに来てアクアラインから北側海域で再び発生し、千葉県側ではpH8.4~8.5、透明度1m台で(図4)、水色も茶褐色を呈する程の濃い赤潮状態でした。

優占種はケイ藻のシュードニッチア (*Pseudonitzschia* sp.) およびスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) で、タラシオシラ (*Thalassiosira* sp.) も多くみられていました。さらに、渦鞭毛藻のセラチウム (*Ceratium furca*) や原生動物のメソディニウム (*Mesodinium rubrum*) もみられていました。

一方、内房海域ではほとんどがケイ藻で占められ、北部ではシュードニッチアとタラシオシラが多くみられていました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu$ g/L以上

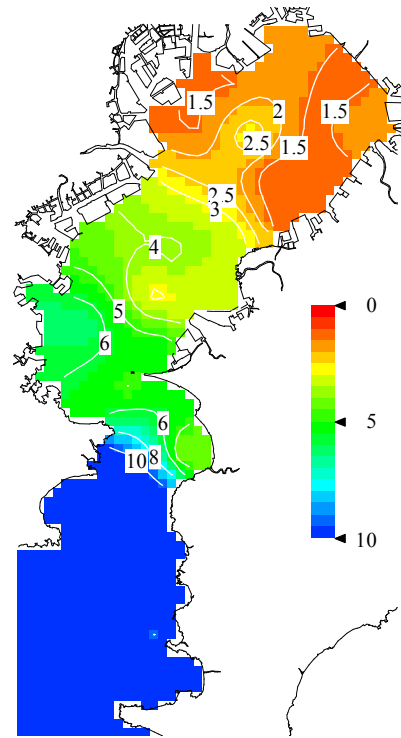


図4 透明度の分布 (m)

### 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は北部海域で低下しており、依然として0.5ml/L以下の強い貧酸素水塊が形成されています。

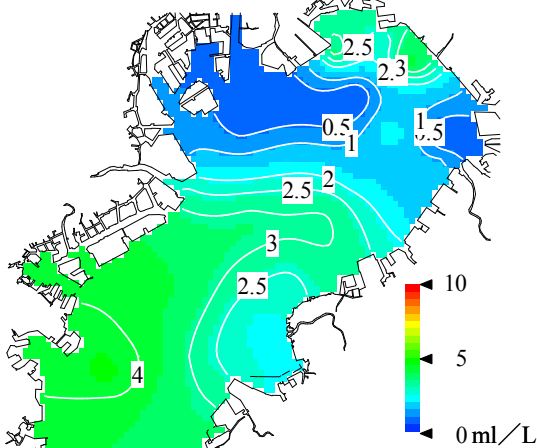


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

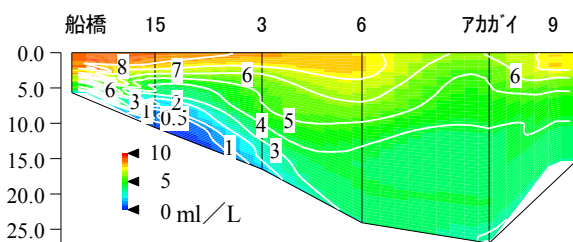


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

### 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)・リン酸態リン(PO<sub>4</sub>-P)とも内湾の東側から内房北部海域で平年よりかなり少なくなっています。

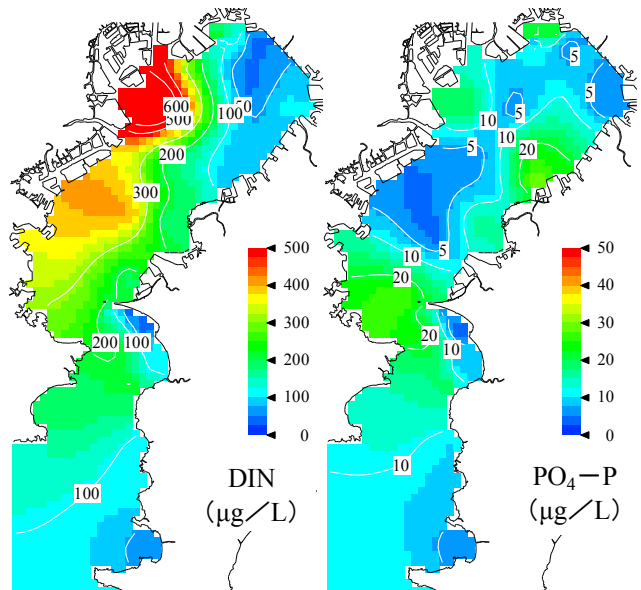


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮は先月下旬半ばあたりから変動しつつあり、その流軸(図8)は14日現在八丈島の東付近でやや蛇行した後、房総半島南東岸を離れつつ北東方向に流れています。

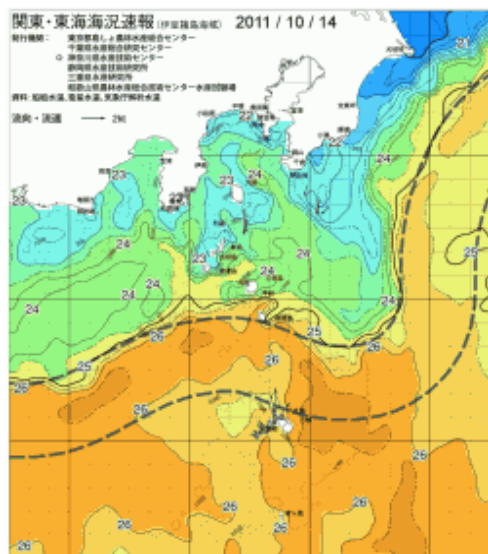
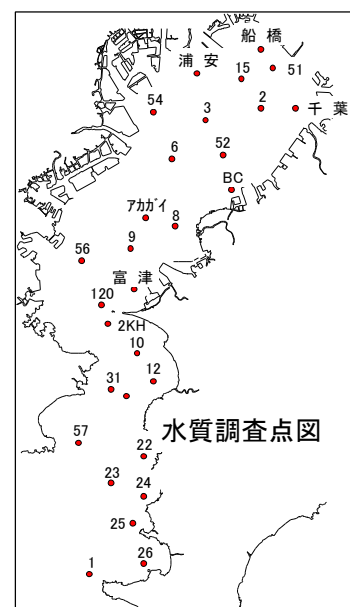


図8 黒潮の動き(平成23年10月14日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値(2001~2010年)

調査点	水温(°C)	塩分	透明度(m)	pH	溶存酸素量(ml/L)	アンモニア態窒素(µg/L)	溶存無機態窒素(µg/L)	リン酸態リン(µg/L)	クロロフィルa(µg/L)	
内湾	船橋	22.6 (22.4)	30.69 (29.33)	1.8 (2.2)	8.3 (8.3)	2.3 (2.4)	26 (80)	29 (310)	6 (42)	22.3
	st.15	22.1 (22.1)	29.83 (28.61)	1.7 (2.4)	8.3 (8.4)	0.1 (1.8)	20 (34)	41 (246)	7 (21)	25.7
	st.3	21.7 (21.9)	28.08 (28.42)	2.8 (2.8)	8.4 (8.4)	1.4 (1.4)	31 (63)	322 (390)	4 (27)	28.5
	st.6	21.5 (21.8)	29.04 (29.00)	2.4 (3.4)	8.4 (8.4)	3.1 (2.1)	39 (38)	239 (292)	4 (22)	9.6
	st.9	21.6 (21.9)	27.89 (29.90)	2.9 (4.8)	8.4 (8.3)	3.0 (3.3)	33 (33)	311 (224)	2 (24)	18.4
	st.BC (盤洲Cブイ)	22.9 (22.8)	29.75 (30.10)	1.3 (3.3)	8.4 (8.3)	3.0 (2.5)	32 (41)	77 (203)	29 (31)	117
	st.8 (盤洲A南)	22.3 (21.9)	30.53 (30.02)	3.5 (3.4)	8.4 (8.3)	2.1 (2.5)	34 (42)	176 (220)	14 (31)	8.9
	富津	22.1 (22.0)	30.58 (30.26)	5.3 (4.9)	8.3 (8.2)	3.2 (3.8)	28 (40)	176 (243)	12 (29)	6.4
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	21.9 (22.1)	31.89 (31.33)	5.0 (6.9)	8.3 (8.2)	43 (40)	193 (221)	20 (25)	3.9	
	st.31	21.8 (22.2)	31.29 (31.60)	11.0 (8.5)	8.2 (8.2)	24 (32)	186 (168)	15 (18)	0.8	
	st.23	22.4 (23.2)	32.89 (33.04)	16.0 (13.4)	8.2 (8.2)	30 (16)	105 (66)	9 (5)	0.8	
	st.1	22.4 (23.6)	32.90 (33.45)	15.0 (15.4)	8.2 (8.2)	14 (18)	78 (41)	8 (4)	0.6	
	st.10 (下洲沖)	22.0 (22.2)	32.03 (31.48)	6.0 (6.6)	8.3 (8.2)	31 (35)	160 (199)	15 (17)	4.5	
	st.12 (湊沖)	22.2 (22.2)	32.19 (31.49)	4.5 (6.8)	8.3 (8.2)	32 (28)	110 (165)	8 (17)		
	st.22 (保田沖)	22.5 (23.1)	33.09 (33.20)	14.5 (12.2)	8.3 (8.2)	30 (23)	85 (65)	8 (6)	0.3	
	st.24 (富山沖)	22.3 (23.2)	32.92 (33.38)	11.0 (14.2)	8.3 (8.2)	22 (19)	80 (46)	6 (5)	0.7	
st.26 (館山湾内)	23.7 (23.5)	33.96 (33.53)	17.5 (13.4)	8.2 (8.2)	33 (20)	41 (66)	4 (7)			

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。